

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	こどもの視線を考慮しながら、棚や絵本、療育教材、物品の配置をおこなっております。	トイレトベーパーの位置など、一部障害のある児童にとって使いにくい構造が見受けられるほか、トイレが一角のため混雑する場面もあることから、今後も環境面での工夫や改善を検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	日々の清掃・消毒をおこない、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めております。午睡に必要な年齢の児童もいるため、活動に応じた空間設定についても検討しております。	午睡時に安心して過ごせる環境づくりについて、空間設定や設備面の工夫を検討してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	以前使用していたバージョンを放課後等サービスとの間仕切りとして活用しており、必要に応じた環境設定ができるよう工夫をおこなっております。	施設構造上、クールダウンできる個室の設置が難しいため、バージョンの活用など環境設定の工夫を検討してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		定期ミーティングや会議以外にも常に話し合いの場を設ける環境や、その場に居ない職員にも後で情報共有できるように記録を残し、意見を募る等工夫をおこなっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表に基づきミーティングをおこなうほか、家族支援の内容も共有し、業務改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日頃から職員間でコミュニケーションを図り、療育現場での課題や意見の共有に努め、業務改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	研修の機会は比較的多く設けられております。できるだけ多くの職員が参加できるように人員配置を工夫しておりますが、個々の研修時間の確保については今後も検討が必要と考えております。	療育対応等により受講機会に限られる職員もいるため、交代で受講できる体制づくりに努めてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントは専門職と児童発達支援管理責任者が実施し、こどもと保護者のニーズを把握したうえで、職員の意見も取り入れながら分析・作成をおこなっております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		原案作成後は必ず支援者会議を実施し、療育に関わる全職員で共有・検討をおこない、児童の最善の利益を考慮した支援計画の作成に努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画は支援者会議で共有し、不在職員には議事録の確認・押印をおこなうほか、新たに着任した職員にも個別支援計画書を確認してもらうよう努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	会社独自のアセスメントツールを用いて実施しております。	日々の行動観察はフォーマルアセスメントの活用頻度が少ないため、より客観的な評価との比較・検討を充実できるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援者会議やミーティング等で支援内容の共有を図り、日々の行動観察や家族支援をおこないながら、必要に応じて適宜見直し・検討し、具体的な支援内容の設定をおこなっております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	支援者会議や定期的なミーティングに加え、必要に応じて話し合いの場を設け、チームで活動プログラムの立案をおこなっております。	実践経験の差による偏りが生じないように、職員間で意見交換をおこないながら、チームで検討できる体制づくりに努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		手作り教材を新たに作成したり、同じ教材でも異なる使い方を取り入れるなど、活動内容が固定化しないよう工夫しております。	教材作成の時間確保が難しい場面もあるため、業務負担とのバランスを図りながら、教材作成や環境整備に取り組みする体制づくりを検討してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動は比較的实施しやすい一方で、集団活動については年齢や課題に違いがあるため、小集団活動に加え、全員参加できるプログラムを立案するなど工夫して支援をおこなっております。	利用時間にばらつきがあるため、利用人数の少ない時間帯でも集団活動を取り入れられるよう、活動内容や実施方法を検討してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、項目で連携して支援を行っているか。	4	2	毎朝の朝礼で支援内容や役割分担を確認し、朝礼に参加できなかった職員については記録確認と押印をおこない、申し送り漏れの防止に努めております。	記録確認による情報共有は実施しておりますが、受け取りに個人差が生じる場合もあるため、口頭での補足や再共有の工夫に努めてまいります。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	退勤時間や送迎状況により、当日または翌日に振り返りをおこなう場合がありますが、職員間での共有に努めております。	業務状況によって振り返り時間が十分に確保できない場合もあるため、効率的に共有・検討できる方法を工夫してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	日々の記録を作成し、その内容をもとに通宣検証や改善につなげるよう努めております。	日々の業務状況により、記録内容を十分に検証する時間の確保が難しい場合もあるため、効率的に振り返りがおこなえる体制づくりに努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリング以外にも、必要に応じたモニタリングをおこなっており、都度、見直しの判断、検討をおこなっております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管以外にも、専門職、その他児童の状況をよく把握できている職員が参画できるように開催場所等の調整をおこなっております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		嘱託医との定期的な連携を図るほか、保育・教育等の関係機関と連携しながら支援をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼保連携)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		インクルージョンの観点から移行支援に対する職員の意識統一を図るため、話し合いの場を設けるほか、関係機関との連携や情報共有を通して相互理解を深められるよう努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	次年度就学予定の児童が複数名いるため、今後連携支援をおこなってまいります。	事業所での支援内容と学校側の情報に相違が生じないように、継続的な情報共有と連携強化に努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	1	4	市のセンターとしての機能について、十分に周知できていない部分があるため、どのような場面で連携が可能かを具体的に伝えていくよう、事例をもとに検討を進めております。	近隣施設への訪問等を通して、市のセンターとしての役割や機能について理解を深めていただけるよう努めてまいります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	1	市町村主催の研修会へ参加するよう努めております。	専門家や専門機関からの助言機会や外部研修への参加について、今後さらに充実できるよう検討してまいります。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		市町村のホームページ等で情報収集をおこなっておりますが、積極的に参加には至っておりません。	今後は地域の会議や協議会等への参加についても検討してまいります。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		現在は外出機会が少なく、地域のこどもたちと接する機会が少ないため、今後検討・計画してまいります。	地域交流の機会が十分に設けられていないため、今後の課題として検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		家族支援に加え、送迎時やHUG等も活用しながら情報共有をおこない、共通理解につながるよう努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	ご家庭でできる関わり方や療育時の対応などについて家族支援をおこなうほか、療育へ保護者様にも参加していただく機会を設けております。	個別での助言はおこなっておりますが、ペアレント・トレーニング等の体系的なプログラム提供については、今後の課題として検討してまいります。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には丁寧に読み上げながら確認をおこない、不明点がないかも改めて説明するよう努めております。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画の原案作成時や本案説明時に丁寧な説明をおこない、意向が適切に反映されているか確認するよう努めております。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画を示しながら、一つずつ支援内容に同意いただけるよう丁寧に説明をおこなっております。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家族支援やモニタリング時に加え、日頃から相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、適宜助言をおこなっております。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		現在は保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けておりません。	今後は土曜日等、ご家族様に参加しやすい日程も含めて交流機会を企画・検討してまいります。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		児童及び保護者様から相談の申し入れがあった場合には、迅速に日程調整し、優先的に対応させていただいております。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		事業所だより発行は終了しておりますが、支援記録や送迎時のやり取りを通して情報共有に努めております。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		言葉だけでは理解が難しい場合などは視覚的な情報も活用し、繰り返し確認をおこなうなど、丁寧な対応に努めております。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		現在は行事等の実施が少なく、近隣住民との交流機会も十分に設けられておりません。	今後は市のセンターとしての役割を果たしているよう、地域交流につながる行事等の企画・検討を進めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		様々な状況を想定し、定期的な職員・利用児童を含めた訓練をおこなっております。また、緊急時対応に備え、マニュアル確認や研修も実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		風水害・地震・不審者等を想定した訓練を実施し、避難経路やイレギュラーな事象への対応も含め、防災意識の向上に努めております。	
	47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用開始前に保護者様へ服装状況やてんかんを含む既往歴、発作時の対応等について聞き取りをおこない、職員間で情報共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様からアレルギー情報を確認している児童については職員間で情報共有をおこなっております。現時点で医師の指示書はありませんが、アレルギー症状が疑われる場合には保護者様と迅速に連携し、マニュアルに沿って対応できるよう努めております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	6		災害や参加児童の状況など様々な場面を想定した避難訓練を年数回実施し、振り返りと検証を通して安全管理への意識向上に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に関する取り組み内容は契約時にもお伝えし、保護者様への連絡方法の周知と連携確認を定期的におこない、年数回おこなわれる避難訓練実施の際もお知らせをしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		些細な事例や軽微な怪我についてもヒヤリハットとして共有し、安全確認や事故防止、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止研修への参加に加え、疑問や不安を感じる事業所については小さくても必ず情報共有をおこなうよう徹底しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	やむを得ず身体拘束が必要となる場合については、契約時に説明をおこなっておりますが、該当する児童がいないため、現時点では個別支援計画への記載はおこなっておりません。	身体拘束は原則としておこないませんが、安全確保等のためやむを得ず必要と判断される場合は、事前に十分な説明をおこない、保護者様の了承を得たうえで個別支援計画に記載し、適切に対応してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。